

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人 咲福社会

自：令和4年4月 1日

至：令和5年3月31日

令和4年度事業報告

事業の概要

【社会福祉事業】

1, 第一種社会福祉事業

なし

2, 第二種社会福祉事業

(イ)就労継続支援 B 型事業「街なか作業所につこにつこ倶楽部」

(ロ)就労継続支援 B 型事業「につこにつこファクトリー」

(ハ)共同生活援助（グループホーム日和）「ホームかたくり」

【公益事業】

日中一時支援事業（桐生市）

【収益事業】

なし

・指定障害福祉サービス事業所である「街なか作業所につこにつこ倶楽部」と、「につこにつこファクトリー」において、桐生市日中一時支援事業を開始しました。

この事業は、障害者等に日中活動の場を提供し、見守り及び社会に適応するための日常的な訓練等を行う事業です。

・第二種社会福祉事業の補完事業として、勢多郡東村土地改良区の事務全般を受託しました。これにより本格的な事務仕事の経験と訓練ができ就労訓練の幅を広げたいと考えています。

事業状況（総括）

令和元年度の末から猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症については、全国的に感染者数が下がってきていることや、政府の方針や専門家の知見を得て少しずつではありますが、様々な社会活動に活気が戻りつつあります。

しかし令和4年度の12月と今年3月には、当法人が運営する2つの事業所において利用者及び職員の感染が確認され一定期間の閉所を余儀なくされましたが、利用者や職員そして家族への感染拡大は最小限に防ぐことが出来ました。このことは、職員や利用者そして家族等が日常の基本的な感染対策を継続した結果であると理解しており、日々最前線で努力された職員に敬意を払うところです。

令和4年度は、「個人個人が持てる強みを活かす」をテーマとして従来のやり方を変えたり挑戦することを忘れずに、一丸となって多くの関係者と手をつなぎ協力し合いながら進んでいくことを基本的な方針として取り組みました。

会計事務の適正化と本部機能の強化を図るため、社会福祉法人会計の外部サポーターとソフトを導入しました。リスク管理体制においては、虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会を立ち上げ委員会を開催し虐待防止等の徹底を図りました。主体性を重視した組織改革と処遇改善については、本年もパート職員1名を正社員に切り替え、全職員を対象に新たな処遇改善特例交付金の支給も開始しました。地域支援ではみどり市東町花輪にある勢多郡東村土地改良区の事務全般を受託し、利用者の幅広い就労の場と社会貢献に繋げていきたいと思っています。

大きく社会環境が変わる中、今後の福祉環境もますます厳しさを増すと予想されます。

社会福祉法人は、福祉サービスの提供主体として中心的な役割を果たすと共に、他の事業主体では対応できない地域の様々な福祉ニーズの充足を図り、地域社会に貢献していくことが求められています。令和5年度においても職員一人ひとりの強みを活かし挑戦することを忘れずに一丸となって邁進したいと思います。

法人役員・評議員

【役員、評議員】(令和5年3月31日現在)

役員	定数	氏名
理事	6	松島肇（理事長）、星野一雄（会長）、板橋清一（副理事長） 塩崎玲子、関口裕、松島弘平
監事	2	小倉基、森口恒雄
評議員	7	湯浅正雄、今泉登志子、小倉秀明、安田節治、石原浩子 小倉一、長田健一

理事会・評議員会開催状況

【 理事会 】

第16回（定足数：理事 6/6、監事 2/2）

- 令和4年7月8日(金)
- ① 令和3年度事業報告・収支報告・監査報告
 - ② 役員改選について
 - ③ 評議員選任・解任委員の互選及び新評議員候補
 - ④ 定時評議員会の招集、定款変更、施設長の承認

第17回（定足数：理事 6/6、監事 2/2）

- 令和4年7月22日(金)
- ① 理事長・副理事長の選任について

第18回（書面）（定足数：理事 6/6、監事 2/2）

- 令和4年8月25日(木)
- ① 理事会招集事項の変更について
 - ② 事務受託（利益相反）契約に関する承認について

第19回（定足数：理事 6/6、監事 2/2）

- 令和4年11月28日(月)
- ① 中間決算及び補正予算について

第20回（定足数：理事 6/6、監事 2/2）

- 令和5年3月23日(木)
- ① 令和5年度事業計画案について
 - ② 令和5年度収支予算案について
 - ③ 令和5年度運転資金借入の限度について

【 評議員会 】

第6回（定足数：評議員 7/7、監事 2/2）

- 令和4年7月22日(金)
- ① 令和3年度収支決算及び財産目録の承認について
 - ② 役員改選に伴う理事・監事の選任について
 - ③ 定款変更について

内部監査結果

令和4年7月1日（金）に当法人の監事による令和3年度事業報告及び決算諸表の監査を実施しました

経営状況について

【法人全体の収支】前年対比（詳細は別紙,事業活動計算書の通り）

障害福祉サービス等事業収入は 6,842,218 円増加の 96,316,161 円、就労支援事業収入は 1,383,742 円増加の 9,242,572 円となり、経常増減差額は 4,324,523 円となりました。

総体的にコロナの影響が大きかったものの、利用者の増加と各種補助金等により経常利益はプラスを確保できました。

主な要因について、(1) 障害福祉サービス等事業収入においては、各施設コロナによる閉所期間はあったが就労支援の現員数が 5 人増で年間延べ利用者数も 533 人増え約 3,900,000 円増加した。また、令和 4 年度から始まったベースアップ等支援加算が約 820,000 円あったことや、コロナ対策の各種補助金と助成金が約 2,100,000 円あったことによる。

(2) 就労支援事業収入は、期初落ち込んでいた経済状況により受託加工事業収入は当初予算比約 600,000 円の減少となったが、自主事業である農作業事業と菓子製造事業においては、販売先の見直しなど販売力を高めた結果約 2,200,000 円の増加となった。

(3) 費用である人件費・事業費・事務費などの事業活動支出は、悪い経済情勢を理解している職員の節約意識等により当初予算と大きな差はなかった。

令和 4 年度においても、コロナウイルス感染症に振り回された大変厳しい一年でした。しかし、補助金等の外部要因だけでなく職員一人ひとりが主体的にアフターコロナを意識した前向きな行動をとった結果が、経常増減差額において 4,324,523 円の増加となったものです。

日々の支援において福祉を最前線で担っている職員の頑張りは大変心強いものがあり、今後の業容拡大と安定に必ずつながるものと確信しています。

【重点目標に対する評価】 評価：できた○、だいたいできた△、できなかった×

年間計画	取り組み	評価
事業の安定的な経営	会計事務の適正化（円滑な事業を行う為の見直し）	○
	経営組織のガバナンスと本部機能強化（役員任期対応と本部人材の明確化）	○
	リスク管理体制の構築（BCP や虐待防止委員会などの整備）	△
質の向上及び人材育成とコンプライアンスの徹底	事業運営の透明性の向上（法令順守と積極的な情報発信）	△
	組織の見直しと活性化（主体性を重視した組織改革と処遇改善）	○
ICTの導入	従来の常識が大きく変わるニューノーマルへの対応（ソフトウェアとタブレット端末の活用）	×
地域貢献	新規事業の検討と既存施設の見直し（生活介護事業、日中一次支援事業のニーズの把握や設備整備の検討）	△

【法人借入金償還状況】 ※元金のみ（単位：千円）

借入先	当初借入額	償還済額	当期返済額	借入残額	備考
桐生信用金庫	35,000	4,263	1,764	30,737	ホームかたくり
桐生信用金庫	1,000	204	204	796	送迎車
足利銀行	7,000	4,788	1,008	2,212	運転資金
足利銀行	32,741	6,450	2,580	26,291	ファクトリー
足利銀行	10,000	2,499	1,428	7,501	運転資金
福祉医療機構	10,000	0	0	10,000	倶楽部コロナ
福祉医療機構	8,500	0	0	8,500	ファクトリーコロナ
合計	104,241	18,204	6,984	86,037	

（借入残高前年比+2,794）

職員の状況

【職員配置状況】(常勤換算による人員)()兼務

	管理者・ サビ管	生活支援員	職業指導員	就労支援員	目標工賃達成 指導員	世話人	夜間支 援員	合 計
にっこにっこ倶楽部	1	2.1	3.6	0	1	0	0	7.7
〃 ファクトリー	1	2.3	2.6	0	1	0	0	6.9
ホームかたくり	(1)	0.8	0	0	0	1.5	1.4	3.7
合計	2	5.2	6.2	0	2	1.5	1.4	18.3

【資格等の取得状況】(非常勤職員除く、複数の資格を持つ職員もいます)

	介護福祉士	社会福祉主事	介護職員初任者 (ヘルパー1・2)	保育士	福環コーディ ネーター2	福祉用具専門 相談員
にっこにっこ倶楽部	3	2	3	1	1	1
〃 ファクトリー	2	2	4	0	0	0
ホームかたくり	0	0	0	0	0	0
合計	5	4	7	1	1	1

【職員状況】(非常勤・パート・世話人・夜間支援員を含む)

年度	人員(男女)	常勤換算人員	平均勤続年数	平均年齢	平均月収
令和4年度	22人(10/12)	18.3人	4.6年	54.8歳	255,912円

【人件費率】

68.9%

利用者の状況

【定員及び現員】(令和4年3月31日現在)

にっこにっこ倶楽部		にっこにっこファクトリー		ホームかたくり		合計	
定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
25	28	20	32	6	6	51	66

【利用状況】

利用率(令和4年3月)

にっこにっこ倶楽部	にっこにっこファクトリー	ホームかたくり	合計
94.0%(23.5人)	97.0%(19.3人)	100%(6人)	95.7%(48.8人)

年間利用状況

施設名	延べ利用者数	営業日数	1日平均利用者数	利用率
にっこにっこ倶楽部	6,206 人	252 日	24.6 人	98.5%
〃 ファクトリー	4,789 人	252 日	19.0 人	95.0%
ホームかたくり	1,809 人	365 日	5.0 人	82.6%
合計	12,506 人	—	—	—

【年齢別状況】

街なか作業所 にっこにっこ倶楽部 (定員 25 名)

	17 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 40 歳	41 歳～ 50 歳	51 歳～ 60 歳	61 歳～ 70 歳	71 歳 以上	合計	平均 年齢
男 性	6	6	3	3	3	1	0	22	33.8
女 性	1	2	0	1	2	0	0	6	39.0
総 数	7	8	3	4	5	1	0	28	36.4

にっこにっこファクトリー (定員 20 名)

	18 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 40 歳	41 歳～ 50 歳	51 歳～ 60 歳	61 歳～ 70 歳	71 歳 以上	合計	平均 年齢
男性	8	1	2	6	3	2	0	22	37.5
女性	5	0	1	2	2	0	0	10	32.5
総数	13	1	3	8	5	2	0	32	35.0

ホームかたくり (定員 6 名)

	18 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 40 歳	41 歳～ 50 歳	51 歳～ 60 歳	61 歳～ 70 歳	71 歳 以上	合計	平均 年齢
男性	0	0	3	2	1	0	0	6	42.3
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	0	0	3	2	1	0	0	6	42.3

行事報告(研修他)

【 行事 】

令和4年度の行事(報告会等)については、前年度に続いて新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として行わなかった。

【 研修 】

1, 職場内研修は年間予定の通り、時間を短縮するなどの対応を取り実施しました。

開催月	研修内容	開催月	研修内容
4月	施設職員としての基本姿勢	10月	インフルエンザ
5月	感染症(新型コロナ、ノロウイルス等)	11月	SST(社会生活スキル・トレーニング)
6月	精神疾患	12月	ストレスマネジメント
7月	業務のレベルアップ(チームワーク)	1月	発達障害
8月	自閉症スペクトラム	2月	障害者虐待防止
9月	事故対応(ヒヤリハット)	3月	意思決定支援(権利擁護)

※新規採用の職員及び準職員に対しては、随時、「障害者支援の基本姿勢」についての内部研修を実施しています。

2, 外部研修はコロナ禍であり Zoom 等のオンライン研修が多くなっていますが、必要と思われる研修については主体的に参加しています。

開催月	主催	研修会名	参加者
4/6月	群馬県こころの健康センター	精神保健福祉初任者研修	Zoom2名
7月	群馬県	甲種防火管理講習	1名
8月	群馬県農業指導センター	米粉を使ったパンの製造工程見学及び体験	1名
9月	にっこにっこファクトリー	ダウン症巡回セミナー	12名
10月	独立行政法人国立重度障害者総合施設 のぞみの施設	障害者の福祉的就労と日中活動サービスの支援のあり方について	zoom1名
11月	福)前橋あそか会光明園	令和4年度第2回作業支援部会	zoom1名
11月	群馬県知的障害者福祉協会	研究発表会	zoom1名
11月	群馬県知的障害者福祉協会	事務部会研修	zoom1名
12月	群馬県福祉人材センター	人材育成担当者研修	zoom1名
12月	群馬県社会福祉協議会	令和4年危機管理委員会	zoom1名
5/1月	福)咲福祉会	虐待防止巡回セミナー(ちはや会)	12名
2月	福)咲福祉会	虐待防止・身体拘束適正化委員会	7名
2月	めぶきフィナンシャルG	めぶき食の相談会2023in宇都宮	2名
3月	福)前橋あそか会光明園	作業支援部会	zoom1名
3月	群馬県運営適正化委員会	福祉サービス苦情解決セミナー	zoom3名

各事業所の状況

【 街なか作業所 につこにつこ倶楽部 】

就労継続支援B型事業所 定員 25 名

平成 25 年 12 月開所

令和 4 年度の 4 月から一年間の総利用者件数は 6206 件の実績となり、1 日の平均利用者数は 24.6 人でした。利用率は 98.5% でした。(昨年度は 6545 件、26.0 人、103.9%)

令和 4 年度の給付費は 45,048,602 円でした。利用に関して、不安定な方もおり、新型コロナウイルスの影響、また新規の利用者が 1 名だったことなどが理由として考えられ、利用率が 100% を割ってしまいました。新規の獲得、利用者の休みを減らすことが課題として挙げられます。令和 5 年度に入っては、3 名の新規の方がスタートしています。

平均工賃の目標額は前年度と同じ 12,000 円としましたが、10,541 円と前年度の 10,792 円を下回りました。工賃アップも最重要課題として取り組んでいきたいと思えます。

売り上げは、年間で 5,302,368 円 (昨年度は 4,329,827 円 972,541 円 増) でした。

今年度も、昨年度、一昨年度同様、新型コロナウイルスの影響を受けた一年となりました。下請け作業に関しては今年度も一時的に仕事が止まることもありましたが、数日後には再開といった状態で、完全にストップするようなことはありませんでした。カフェに関しては展示スペースの活用も消極的で春秋に限られるなど、客足は少ない状態が続いています。昨年度から昼食の弁当注文日を増やし、利用者の作業作りと安定した収入に繋げています。炊き込みご飯の素を中心とした乾燥品作りに関しては安定した注文がありました。農作業は収入面でも大きく落ち込むことはありませんでしたが、今年も異常気象により天候には左右されて、苦勞するところがありました。令和 3 年 9 月よりスタートした施設外就労は不定期ですが、今年度も依頼があり、農業法人「ニキフルール」に伺い、追肥作業、名札付け、枝切り作業等を行ないました。また、10 月より勢多郡東村土地改良区事務所 (あずま高原みどり保全会) の仕事も請け負い、利用者にも事務仕事を手伝いながら、パソコンの使い方を少しずつ学んだりする良い機会になっています。

コロナ禍、三年目を迎え、感染予防対策をしっかりと施し、通常に近い形での支援を行ってきました。食事時は密状態を避け、工夫して過ごすようにしてきました。感染予防対策は施してきましたが、12/8 に 3 名の利用者がコロナ陽性になる事案が発生し、その後利用者 3 名と職員 2 名が感染しました。これまでと違い、感染が拡がる事案になりましたが、それ以上の感染拡大とならないよう出勤を控えたり、在宅支援という形で対応させていただきました。また、今年度も感染予防の観点からレクリエーション等行事の実施や参加は一年間、極力、控えることにしました。外部からの体験実習は今年度は 6 月、10 月、1 月と実施にいたりしました。

コロナ禍ではあっても、安心笑顔の実践などにつこにつこらしさは続けてきました。障害者スポーツ大会やボッチャ大会等に感染対策を行ない参加したり、利用希望者の見学等も再開しました。

レクリエーションの一環として職員の一人が資格を取得した「福祉ネイル」を新たに行いました。希望する利用者に施術したところ、大変喜んでくださり、おしゃれに興味を持つようになっていたり、表情が明るくなったりしました。またご家族向けにも行なったところ、大変に好評でした。今後も定期的に行っていく予定です。

来年度は以前のように、レクリエーションや対外的なイベント等そういった活動が再開できると思われ、感染対策しながら、参加していくことで、今以上の笑顔も生まれてくると思います。

【 つこにつこファクトリー 】

就労継続支援B型事業 定員 20 名

平成 30 年 7 月開所

令和 4 年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な活動に影響を受けた。又、不安定な世界情勢による物価の高騰等でも、間接的にじわじわと影響を受けることとなった。

先ずは、当事業所における利用率であるが、感染症の影響のあるなかでも、定員 20 名に対し契約者 32 名（令和 5 年 3 月）と増員させることで、令和 4 年度の利用率は 95.0%と前年比+17%となっている。障害福祉サービス等事業費は、38,899,870 円となった。

続いて利用者さんへの提供サービスについては以下の①作業支援②新型コロナウイルス感染症と大きく分けさせてもらうこととした。

① 作業支援…安定した作業提供、安心できる作業環境整備を重点において進めた。

・就労収入（売上） 令和 4 年度はジャム・菓子収入 3,403,657 円、下請け作業収入 536,547 円、合計 3,940,204 円となっている。

前年度合計が 3,025,703 円であり、前年度比 914,501 円の増加となったことで、微弱ながらも工賃アップに繋がっている（令和 3 年度平均工賃 7,869 円、令和 4 年度平均工賃 8,003 円）。しかしながら下請け作業については、コロナ禍の影響を受けたことにより前年度比 113,675 円の減収となっており、今後はこのような状況下においても堪えられる自社製品（ジャム・菓子）の販売に充実した展開を目指したい。

作業環境整備については、今後も利用者さんの障がい特性を理解した上での支援を進め、利用者さんが安心して利用できる環境づくりに取り組んでいきたい。

②新型コロナウイルス感染症…事業所内において感染者が広がり、事業所閉鎖を行った（令和 4 年 3 月）。感染症法上の位置付け変更（令和 5 年 5 月 8 日より）となったわけだが、事業所での感染予防対策は継続し、感染者確認の際の対応についても感染拡大防止対策を引き続き行っていきたい。

職員体制については、職員の役割分担をより明確とした職員配置を行い、より業務が円滑に運ぶような取り組みを行った。今後は、職員間での事業所としての課題や利用者さん支援課題を共有、連携して支援する体制の強化が課題となる。

虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会が設置され、職員の人権意識の向上に繋げた。今後も共生社会の実現、及び権利擁護の考え方を共有することを前提として進めていきたい。

当事業所を利用される利用者さんが、作業所生活を通して、経験や生活の幅を広げ、豊かで充実した生活につながる支援を心がけるを基に実践に努めていきたい。

【 ホームかたくり 】

共同生活援助（グループホーム）

令和2年11月開所

令和4年4月から令和5年1月まで定員6名のところ5名の状態で運営されました。

詳細の利用状況は別紙のとおりです。

2月からは1名増え6名になり現在に至っており今のところ特に大きな問題はなく入居者は平穏なグループホームの生活をしています。

月平均4.96人で年間利用率は82.7%となり、障害福祉サービス等事業収入は12,367,689円となっています。

新型コロナウイルス関連でも、対策をしつつ過ごしてもらい、1名の感染はあったものの、グループホーム内での集団的な感染はなく、落ち着いていました。

昨年の11月は東武動物公園にも出かけ、皆さんで楽しまれています。

利用状況

氏名\月	R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	合計	平均利用日
A	11	27	30	31	29	30	29	30	26	27	28	31	329	27.4
B	30	30	30	31	29	30	28	30	29	29	28	31	355	29.6
C	30	30	30	31	31	30	24	30	29	29	28	31	353	29.4
D	30	28	28	31	29	30	31	30	29	29	28	31	354	29.5
E	30	30	30	31	29	30	31	30	29	29	28	31	358	29.8
F	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
G										0	28	31	59	4.9
合計	132	145	148	155	147	150	143	150	142	143	168	186	1,809	
開業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
平均利用人数	4.4	4.7	4.9	5.0	4.7	5.0	4.6	5.0	4.6	4.6	6.0	6.0	4.96	